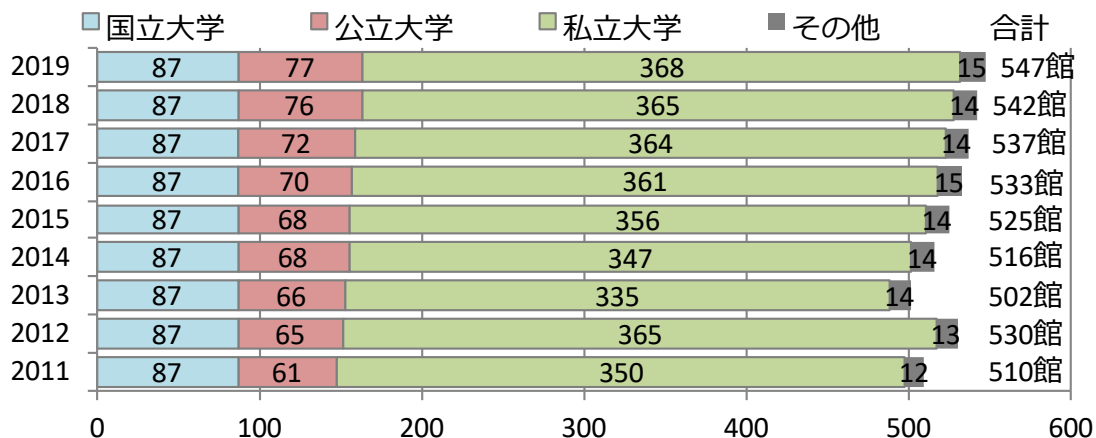


2019 年度 大学図書館コンソーシアム連合 (JUSTICE) 活動報告
(2019 年 9 月 30 日現在)

1. 組織・体制

(1) 会員館数 (国公立大学, その他 (大学共同利用機関, 省庁大学校の図書館))

2019 年度増減: 新規 6・脱退 1 (2019 年 9 月 30 日現在)



(2) 運営体制 (2019 年度委員等名簿 (項番 9) 参照)

大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議			
JUSTICE 運営委員会	委員	14 名	(会員館から選出)
交渉作業部会	委員	31 名	(会員館から選出)
調査作業部会	協力員	3 名	(会員館から選出)
広報作業部会			
JUSTICE 事務局	専任職員	3 名	(会員館から出向)

2. 出版社等との交渉を通じた電子リソースの購入・利用条件の確定

(1) 出版社交渉

	2019 年度 (9 月 30 日現在)	(参考) 2018 年度
交渉・協議対象	58 社 (海外 50, 国内 8)	64 社 (海外 66, 国内 8)
提案合意, 開示済	56 社 (海外 48, 国内 8) 101 提案・211 製品	57 社 (海外 49, 国内 8) 106 提案・215 製品
交渉中	3 社	-
直接対面交渉回数	43 回	82 回

2018 年 10 月～	2019 年度/2020 年契約向け提案の条件交渉～提案合意
2019 年 4 月～	会員館への提案書開示 (会員館限定ウェブページに掲載)
2019 年 9 月 12・13 日	版元提案説明会@学術総合センター (東京) (出版社が会員館へ提案内容を直接説明)
2019 年 10 月～	2020 年度/2021 年契約向け提案の予備交渉開始

(2) 契約状況調査

- ・ 全会員館の最新の契約状況を把握することにより、出版社交渉の際の基礎データとして活用する。また、調査結果の概要を会員館へ開示し、コンソーシアムの現状について周知する。
- ・ 2019年度調査実施（5月8日～6月7日）

	2019	2018	2017	2016	2015	2014	2013	2012	2011
対象館数	544館	538館	533館	527館	522館	507館	494館	514館	486館
回答館数	540館	535館	529館	525館	520館	506館	483館	495館	459館
回収率	99.3%	99.4%	99.2%	99.6%	99.6%	99.8%	97.8%	96.3%	94.4%

- ・ 調査結果速報版を会員館限定ウェブページへ掲載（9月9日）
- ・ 調査結果最終版を作成中（11月頃掲載予定）

(3) 版元提案説明会

- ・ JUSTICE と出版社等が合意した提案内容について、出版社等から会員館へ直接説明する場として、毎年度開催している。
- ・ 2019年度開催日程：2019年9月12日(木)～13日(金)

場所：一橋大学一橋講堂・中会議場（東京都千代田区一ツ橋）

参加数	2019	2018	2017	2016	2015	2014	2013	2012	2011
会員館	201館	189館	194館	196館	191館	207館	203館	197館	208館
	348名	318名	314名	310名	308名	330名	320名	282名	292名
出版社等	28社	30社	34社	34社	33社	32社	31社	32社	28社
	156名	161名	157名	147名	144名	116名	111名	115名	96名

- ・ 説明会開催期間中、会場内に「JUSTICE ヘルプデスク」を設置し、作業部会委員が会員館参加者の質問・相談に対応した（相談件数75件）。

(4) OA2020への対応検討

- ・ 学術雑誌のオープンアクセス出版への転換を目指す国際的なイニシアティブである“OA2020”の関心表明に、運営委員会委員長名で署名（2016年8月）。「OA2020対応検討チーム」を設置（2017年度～）し、現行の購読モデルからオープンアクセスへの転換の可能性について、検討を行っている。
- ・ Web of Science のデータを基に、論文公表実態調査を実施し、報告書を公開すると共に、会員館への詳細データの提供を開始した。（2019年5月）

(5) 国内電子書籍の導入促進検討

- ・ 会員館の状況やこれまでの情報収集・協議を踏まえて、大学図書館がより導入しやすい契約モデル・条件を出版社から引き出すための活動を行っていたが、早急に対応すべき懸案事項がなく、検討体制や方針等の見直しのため、2019年度は活動を休止することとした。

3. 電子リソースのバックファイル・電子コレクション等の拡充

(1) 電子ジャーナル・バックファイル

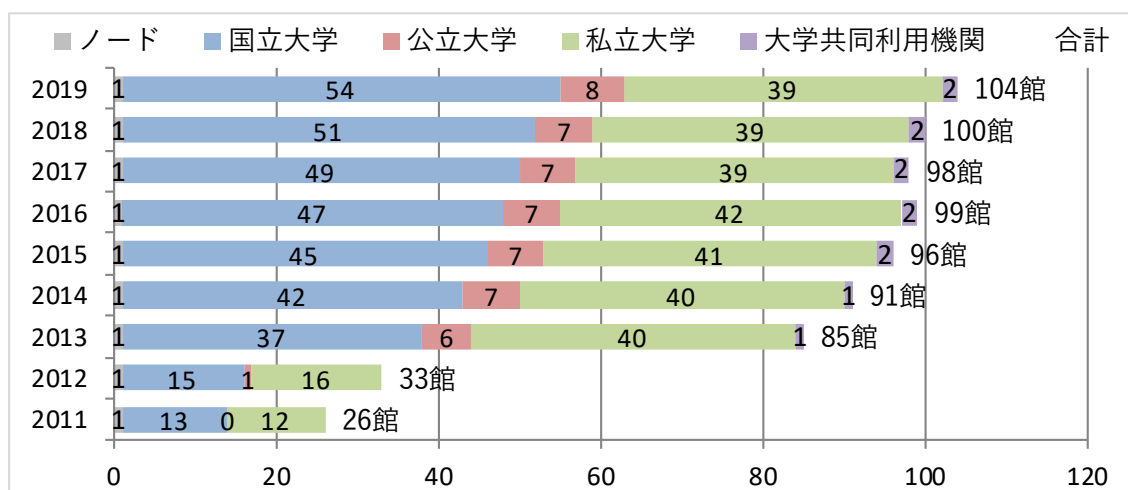
- ・ ナショナル・アカデミック・ライセンスによるバックファイルの整備について、NII の協力を得ながら継続的に検討を行っている。

(2) 人文社会科学系電子コレクション

- ・ NII からの経費支援により、現在 3 種類のコレクションを大幅割引価格で提案中。
 - EEBO: Early English Books Online (初期英語書籍集成データベース): 62 大学 (除くコンソーシアム成立前 7 大学。2019.4.22 現在)
 - America's Historical Imprints Series I: Evans, 1639-1800 (初期アメリカ刊行物資料集成) (コンソーシアム成立前 4 大学。2019.5.15 提案書開示)
 - The Making of the Modern World Part III (MOMW III, 社会科学系学術図書) (コンソーシアム成立前 4 大学。2019.6.7 提案書開示)

4. 電子リソースの長期保存とアクセス保証

- ・ 世界中の大学図書館および学術出版社が共同運営する大規模なダークアーカイブ (保存) プロジェクト “CLOCKSS” について、NII と連携し国内参加館の拡大を図っている。
- ・ CLOCKSS 未参加の出版社に対しては、出版社交渉時に参加を要求している。



5. 電子リソースに関わる図書館職員の資質向上

(1) 研修会・勉強会の開催

1) JUSTICE 電子資料契約実務研修会

地 区	東海地区 (名古屋)
日 時	2019 年 7 月 12 日 (金) 13:30~17:30
会 場	名古屋大学
内 容 ・ 講 師	第一部 電子資料の有効利用のために:『電子資料契約実務必携』の活用 中村 健 (大阪市立大学, 調査/広報作業部会委員) 第二部 電子資料契約実務事例紹介 辻 顕暢 (名古屋市立大学), 山川 幸恵 (名古屋大学), 小林 晴子 (愛知医科大学)
参加者	61 名 (運営担当 9 名含)

2) 版元提案説明会開催前の勉強会

日 時	2019年9月12日(木) 10:30~11:45 ※版元提案説明会の初日
会 場	一橋大学一橋講堂 (東京都千代田区一ツ橋 学術総合センター)
内 容	電子資料の有効利用のために：『電子資料契約実務必携』の活用
講 師	池尻 亮子 (千葉大学, 広報作業部会委員)
参加者	169名 ※参加申込者数

3) 版元提案説明会 オプション企画

日 時	2019年9月12日(木) 16:30~17:00 9月13日(金) 16:00~16:30 ※版元提案説明会の両日
会 場	一橋大学一橋講堂 (東京都千代田区一ツ橋 学術総合センター)
内 容	「雑誌契約担当者のための OA 説明会」
講 師	12日：立原 ゆり (東京大学, 調査作業部会委員/OA2020 対応検討チーム) 13日：梶谷 春佳 (京都大学, 調査作業部会委員/OA2020 対応検討チーム)
参加者	271名 ※参加申込者数

(2) 実務研修 (NII 実務研修制度による, JUSTICE 事務局での OJT 研修)

- ・ 2019年度は引き続き募集中。

6. 広報および情報収集・提供に係る活動

(1) 会員館向け広報誌“jusmine”の発行 (年3回程度発行予定)

号	発行日	特集
No.35	2019.4.25	『電子ジャーナルに関する学内向け説明資料』紹介 /JUSTICE ウェブサイト紹介
No.36	2019.8.23	電子資料契約実務研修会開催報告 /2019年度版元提案説明会 開催予告

(2) 国際会議への派遣

1) 国際図書館コンソーシアム連合 (ICOLC) 会合

- ・ 国際図書館コンソーシアム連合 (International Coalition of Library Consortia : ICOLC) の春季 (北米) と秋季 (欧州) の国際会議に, 会員館の職員を派遣し, 海外のコンソーシアムとの間で情報共有・意見交換を行っている。

回次	日程	開催地	派遣者
春季 会合	2019.4.7-10	バンクーバー (カナダ)	山形 知実 (北海道大学) 会員館職員 吉田ふゆみ (東北大学) 事務局職員
秋季 会合	2019.10.20-23 (予定)	ルクセンブルク (ルクセンブルク)	市古みどり (慶應義塾大学) 運営委員会委員長 吉田ふゆみ (東北大学) 事務局職員

2) Global ESAC Workshop

- ・ OA 出版モデルへの移行契約に関する実務者向けワークショップに, 運営委員会委員長を派遣した。

回次	日程	開催地	派遣者
4th	2019.5.28-29	ミュンヘン (ドイツ)	市古みどり(慶應義塾大学) 運営委員会委員長

7. 会議の開催

(1) 運営委員会

回次	開催日	主な議題
第1回	2019.6.5	2019年度の活動体制, 出版社交渉の状況, ほか
第2回	2019.11.15 (予定)	2020年度以降の活動体制, 出版社交渉の状況, ほか

8. 主な活動経過

2019年 4.7-4.10	国際図書館コンソーシアム連合 (ICOLC) 2019年春季会合 (カナダ・バンクーバー) に JUSTICE 会員館および事務局から職員を派遣
4.25	会員館向け広報誌 jusmine No.35 発行
5.8-6.7	2019年度契約状況調査を実施
5.13	2019年度第1回広報作業部会
5.15	国立大学図書館協会春季理事会 (東京大) で活動状況報告
6.5	2019年度第1回交渉作業部会
6.5	2019年度第1回運営委員会
6.14	第51回国立大学協会図書館協議会総会 (島根) で講演
6.20-6.21	第66回国立大学図書館協会総会 (岡山) で活動状況報告, 会場内でのブース出展による広報活動
6.25	会員館へ2019年度会費請求書を送付
7.2	第18回大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議で活動状況報告 (事務局)
7.12	電子資料契約実務研修会 in 名古屋 (名古屋大) を開催
7.25	2019年度第2回交渉作業部会
7.26	第86回国公私立大学図書館協力委員会 (佛教大) で活動状況報告
8.21	2019年度第3回交渉作業部会
8.23	会員館向け広報誌 jusmine No.36 発行
8.27	2019年度第4回交渉作業部会
8.29-8.30	私立大学図書館協会2019年度総会・研究大会 (帝京大) で会場内でのインフォデスク出展による広報活動
9.12-9.13	2019年度版元提案説明会 (一橋大学一橋講堂・中会議場)

9. 2019年度委員等名簿（2019年9月30日現在）

(1) 運営委員会委員〔14名〕

筑波大学学術情報部情報企画課長	成澤めぐみ	
東京大学附属図書館事務部長	江川 和子	
東京大学附属図書館情報管理課長	細川 聖二	交渉作業部会主査
京都大学附属図書館学術支援課長	山中 節子	調査作業部会主査
広島大学財務・総務室図書館部図書学術情報企画グループリーダー	岡田 高志	
横浜市立大学学務・教務部学術情報課長	河西 徹	
大阪府立大学学術情報課課長代理	赤崎 久美	
慶應義塾大学三田メディアセンター事務長	市古みどり	委員長
東京慈恵会医科大学学術情報センター課長	北川 正路	
明治大学学術・社会連携部図書館総務事務室副参事	柴尾 晋	
早稲田大学図書館総務課長	笹渕 洋子	
関西大学図書館事務長	濱生 快彦	広報作業部会主査
国立情報学研究所学術基盤推進部次長	木下 聡	
国立情報学研究所学術基盤推進部図書館連携・協力室長	平田 義郎	事務局長

(2) 作業部会委員〔31名〕

北海道大学	本間静一郎	信州大学	小島 浩子	中央大学	佐藤 健士
東北大学	菅原 真紀	静岡大学	小野 華子	東京理科大学	関口 和仁
筑波大学	福井 恵	名古屋大学	山川 幸恵	法政大学	井口 幸
千葉大学	池尻 亮子	京都大学	梶谷 春佳	明治大学	西脇亜由子
千葉大学	宿谷みゆき	大阪大学	白石 真之	早稲田大学	岡本 諒子
東京大学	新見 槇子	大阪大学	藤田 直美	同志社大学	稲岡 彩
東京大学	立原 ゆり	九州大学	原賀可奈子	立命館大学	蔵城 一樹
東京工業大学	伊藤 志帆	九州大学	小柳 真弓	関西大学	大上 良樹
一橋大学	赤木真由子	横浜市立大学	田中 千尋	関西学院大学	赤坂 亨
横浜国立大学	水野 琴海	大阪市立大学	中村 健		
新潟大学	小杉しおり	慶應義塾大学	藤本 優子		

(3) 作業部会協力員〔3名〕

北海道大学	山形 知実	神戸大学	末田真樹子	国立情報学研究所	尾城 孝一
-------	-------	------	-------	----------	-------

(4) 事務局職員〔3名〕

国立情報学研究所学術基盤推進部図書館連携・協力室長	平田 義郎	(東京大学)
国立情報学研究所学術基盤推進部図書館連携・協力室	玉川 恵理	(近畿大学)
国立情報学研究所学術基盤推進部図書館連携・協力室	吉田ふゆみ	(東北大学)